



LINK

2019 No. 41 リンク

特定非営利活動法人
日本医療福祉実務教育協会通信

CONTENTS

- | | |
|---------------------|------|
| ● 【特集】全体研修会報告 | P.03 |
| ● オーストラリア医療福祉研修報告 | P.06 |
| ● 協会賞受賞者 | P.09 |
| ● 検定対策講座 | P.10 |
| ● 医療秘書実習及び介護職員実習 | P.12 |
| ● 連載 新時代の医療事務 | P.16 |
| ● 医療スタッフのワンポイントレッスン | P.17 |
| ● 卒業生の声 | P.18 |
| ● 就職現場に聞く | P.20 |
| ● 学生VOICE 突撃レポート | P.22 |
| ● 会員校紹介 | P.24 |
| ● 事務局だより | 裏表紙 |

協会の目的

私たち日本医療福祉実務教育協会(JAEMWS)は、「医療福祉の仕事に情熱をいただき、進み行く“高齢社会”に対して心からの貢献を目指す会員校学生の方々」を迎え入れ、医療関連施設や福祉関連施設で活躍できる人材の養成に努力していきます。

実務資格

医療秘書実務士 Certified Medical Secretary

どのような仕事？

医療体系が専門化・高度化する現在、チーム医療を円滑に行うことから生まれた事務系の専門職、それが「医療秘書」です。

医師やコ・メディカルスタッフといわれる看護師・レントゲン技師・薬剤師・理学療法士などの職員同士、そして医師やコ・メディカルスタッフと患者さんとの間に位置してコミュニケーターとしての役割を担います。仕事内容は、院長・総看護師長(看護部長)・医局での秘書、医事課での診療報酬請求事務・受付・会計。そして病棟クラーク、診療部門での医師のサポートなど、多彩な業務を担当します。

介護保険実務士 Certified Care Department Clerk

どのような仕事？

これからは、介護保険に関するサービスが多様化していきます。また、サービスの内容や回数を受け取る側が選べ、組み立てていくようになります。

介護保険に関するサービスは、多くの業種(施設・病院・歯科医院・ホームヘルプサービス団体・レンタルショップ・デパート・商店・建設会社、など)が関係します。

介護保険実務士には、これらの団体や会社からの地方自治体への介護報酬の請求手続きをはじめ、サービスを受けられる方の身近な相談窓口として、介護サービスの内容や金額などを説明・提案する役目が求められます。

診療情報管理実務士 Certified Medical Information Manager

どのような仕事？

安全で安心な医療を提供するためには、診療記録と医療情報を扱うエキスパートが必要です。患者さんの診療記録を管理し、必要な情報の収集や分析・統計を行う業務にあたります。

医師事務作業補助実務士 Certified Doctor's Assist Clerk

どのような仕事？

地域の急性期を担う病院の勤務医の負担軽減策の一つとして、平成20年4月の診療報酬改定において「医師事務作業補助体勢加算」が新設されました。これにより、急性期病院では、医師の事務作業を補助する職員が多く配置されるようになりました。

医師の指示の下に、以下のような事務作業の補助業務を医師に代わって行います。
1. 診察内容の電子カルテシステムへの代行入力 4. 学会等の資料作成
2. お薬や注射等のオーダーの代行入力 5. 医師のスケジュール管理
3. 診断書などの医療文書作成補助

医事実務士 Certified Medical Department Clerk

どのような仕事？

医療事務とは、病院などの医療機関で事務を担当する仕事です。具体的には、受付業務、診療費の計算、カルテの管理、病棟クラーク、などです。患者様と医療従事者との間で、情報の伝達や書類の作成などをする大変重要な業務です。

オーストラリア研修

当協会では、毎年の恒例行事として、「オーストラリア医療・福祉研修」を実施(例年は9月初旬の12日間)しています。

この研修では、救急指導センター・保育園・高齢者ケアセンター・病院給食センターなど、たくさんの施設を見学します。さらに、地域の高齢者に対する食事宅配ボランティアを手伝うなど、海外の医療・福祉現場から多くの貴重な体験が得られます。

また、具体的な研修の間には、海上バスでブリスベン市内観光をはじめ、コアラ・乗馬・イルカショーなど動物とのふれあい、アボリジニアートの体験、農業祭の見学、ショッピングなど、学生生活における楽しい思い出作りにもなります。

そして、何より、親切なホストファミリーや現地の新たな友人との間であたたかい人間関係を築くことができ、個人の旅行では決して得られることができない有意義な時間を過ごせることでしょう。

医事実務検定試験

どのような試験？

この検定試験は、学科試験・実技試験によって構成されています。

学科試験では、1. 医学・医療の基礎知識、2. 医療制度、関連法規、マナー、3. 診療報酬、

実技試験では、4. 診療報酬請求事務(レセプト作成・点検)から、「BASIC」と「ADVANCE」の2つのレベルに応じた内容が出題されます。

試験時間は、1~2の分野を合わせて40分、3の分野で20分、4の分野で60分で、学科試験は e-Learning 上、実技試験は解答のみ e-Learning 上で実施します。

合格の基準は？

原則「学科試験・実技試験ともに得点率60%以上」を合格基準としていますが、問題の難易度により合格基準の得点率が上下する場合があります。

試験はいつ行われるの？

年2回(7月、12月)

受験資格は？

当協会の会員校に在籍する学生または卒業生にあって、次の要件を満たす方が受験できます。

・当協会会員校に在籍中の場合、医療秘書実務士養成課程を履修している者

・当協会会員校卒業生の場合、医療秘書実務士資格を取得している者

各級の受検料は？

受検料は次の通りです。なお、不合格者の再受検料は、1年以内の2回目に限り、半額となります。

「BASIC」 3000円

「ADVANCE」 5000円

試験会場は？

当協会会員校のうち、試験を実施する会員校が会場となります。また、設定された試験実施期間にあって、会場ごとに具体的な実施日が異なることもあります(詳細については、在籍・卒業した会員校または当協会まで)。

参考書籍は？

次の3冊が、「指定参考図書」となっております。

・『医学・医療用語ハンドブック』建帛社・『医療秘書実務』建帛社・『医療事務総論』建帛社

※各書籍の詳細は、協会テキストでご覧になれます。

試験実施会場と具体的な日程については、在籍・卒業した会員校または当協会までお問い合わせください。

特定非営利活動法人 日本医療福祉実務教育協会として躍進!

平成10年1月に日本医療福祉実務教育協会が発足して以来20年が経過いたしました。その間、平成21年には特定非営利活動法人となり、医療や福祉の分野で「医療秘書実務士」「介護保険実務士」「診療情報管理実務士」の資格を発行して参りました。現場のニーズに対応する人材育成機関として、医療事務を志す皆様、より実践的スキルを身につけていただくため、様々な修了証も発行しています。また、実力を認定するために、平成22年より「医療秘書実務技能検定試験」を開始しました。これからも社会的使命を果たすべく、前進して参ります。

特定非営利活動法人 日本医療福祉実務教育協会
理事長 満部 仁



認可証授与式

特定非営利活動法人日本医療福祉実務教育協会会員校

- ▶ 飯田女子短期大学
- ▶ 滋賀短期大学
- ▶ 東筑紫短期大学
- ▶ 川村学園女子大学
- ▶ 奈良佐保短期大学
- ▶ 別府溝部学園短期大学
- ▶ 田園調布学園大学
- ▶ 和歌山信愛女子短期大学
- ▶ 大分県歯科技術専門学校
- ▶ 名古屋女子大学短期大学部
- ▶ 京都栄養医療専門学校
- ▶ 鹿児島女子短期大学
- ▶ 愛知文教女子短期大学
- ▶ 山陽女子短期大学
- ▶ 久留米信愛短期大学
- ▶ 中部福祉保育医療専門学校
- ▶ 鳥取短期大学
- ▶ 大阪国際福祉専門学校
- ▶ 四條畷学園短期大学

特定非営利活動法人日本医療福祉実務教育協会

Japanese Association for Education of Medical and Welfare Secretary(JAEMWS)
ホームページアドレス <http://www.iryofukushi.com/>

全体研修会報告

平成30年度 特定非営利活動法人日本医療福祉実務教育協会

東筑紫短期大学 食物栄養学科 萩原 勇人

日本医療福祉実務教育協会では、会員校の教育内容の充実と教職員の資質向上を目的として「全体研修会」を毎年開催しています。平成30年度は、中国・九州地区(山陽女子短期大学、鳥取短期大学、東筑紫短期大学、久留米信愛短期大学、別府溝部学園短期大学、大分県歯科技術専門学校、鹿児島女子短期大学)が幹事校となり、平成30年8月31日に北九州市で開催しました。全国の会員校より大勢の皆様に参加いただき、とても有益な研修会となりました。

研修会は、東筑紫短期大学の併設校である九州栄養福祉大学小倉南区キャンパスを会場として実施しました。同キャンパス内にある「九州リハビリテーション大学校記念館」にて二つのテーマの講演会を開催し、その後「日本リハビリテーション発祥地記念館」を見学しました。

講演会では、はじめに医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院名誉院長／介護老人保健施設 伸寿苑施設長の浜村明徳先生を招いて「少子高齢化時代 メディカルスタッフの教育に期待する～我々の試みを通して～」というテーマにてご講演いただきました。



研修会会場の外観



研修会受付



研修会の様子



浜村先生のご講演

浜村先生は、臨床医として日本のリハビリテーション分野に黎明期から携わり、その発展に寄与されるとともに、現代社会における超高齢化問題の対応策のひとつである「地域包括ケアシステム」についても先駆的な取り組みを次々と実践されているパイオニア的な存在であります。本研修会では、ご自身が取り組んで来られた様々な試みをユニークかつ分かりやすくご説明いただきました。また、地域連携・多職種協働の重要性やボランティアの育成・連携の必要性とその難しさなども具体的な実践例を交えてお話いただきました。

締め括りとして、様々な取り組みの中で感じられたメディカルスタッフの教育に期待することとして、チームの一員としての心構えの涵養と専門職を育てるうえでの大切なことを教えていただきました。

教育される皆様へ：チームの一員としての心構えを

1. 人への優しさ、共感力
2. 自立
 - ・ 個人としても自立した考え方、行動ができること
 - ・ 他職種のせいにならない専門職であること
3. 協調性
 - ・ なぜチームなのかを理解し、チームの一員として機能できること
4. 社会性
 - ・ 世の常識・規範などが持っていること
 - ・ 組織内だけでなく、地域・施設の外でも通用する社会性を持つこと
5. 創造力
 - ・ 困難なことにもチャレンジする姿勢を持っていること

浜村先生のご講演資料 1

教育される皆様へ：専門職として

- 専門性の教育は、当然のこと
 - ・ しかし、事前・事後とも専門性・スキルアップに集中しすぎではないか？
- 「感じて、考えて、行動する力」を育てていただきたい
 - ・ 「感じる」：感じない専門職の態度が、冷たい、優しくないにつながることも
 - ・ 「考える」：すぐに、答えを聞きながら思う
 - ✓ 我々もマニュアル人間を養成している気がしてならない。問題が起こると、すぐ「マニュアルを作る」になっている。根本から考える、考え続けることが大事と考える。
 - ・ 「行動する」：答えのない課題には挑戦しない職員が多い
- 「フィールドワーク」を大事にしていただきたい
 - ・ 「フィールドワークの意義」：考える力、コミュニケーション力が育つ
 - ✓ さまざまな人や場面に遭遇するが、専門的スキルだけでは対応できず、自分がかんがひ力であるかを知る機会ともなる。
 - ・ 臨床実習：例えば、「障害と共に地域社会で生きてゆくこと」の困難さを知る機会
 - ✓ 専門性の素養らしきも限界も知ってほしい。

浜村先生のご講演資料 2

つぎに、九州栄養福祉大学小倉南区キャンパス学長補佐の橋元隆教授に「リハビリテーションの歴史と今後の展望」というテーマにてご講演いただきました。橋元先生は、九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部の前身校である国立の九州リハビリテーション大学校*の栄えある一期生として卒業後、教員として前身校から現在に至るまで一貫して理学療法士・作業療法士の育成に尽力されておられます。また、永年にわたり輩出してきた教え子たちが日本全国のリハビリテーション分野で数多く活躍しています。ご講演では、リハビリテーションの歴史や今後のビジョンについて、ユーモアたっぷりに話していただきました。以下、お話いただいた内容の一部を当日配布された資料に基づき紹介します。



橋元先生のご講演

昭和20年の八幡大空襲から戦後の国の復興・産業の発展を支えた北九州工業地帯では、炭鉱事故や湾岸事故などによる重度の労働災害が頻発していました。昭和24年、その被害者への治療・社会復帰にあたる日本初の労災専門病院として「九州労災病院」が開設されました。同病院には小倉傷痍者訓練所が併設され、酪農や農業、ラジオ組み立て、洋裁、木工などの教室のほか、義手・義足の製作など、現在の就労支援的な指導も行われていました。

我が国のリハビリテーション医療の先駆的な取り組みを表す言葉として、昭和30年代には「リハビリテーションの太陽は西から昇る」と言われるようになりました。その後、昭和41年に国の労働福祉事業団によって、九州労災病院の敷地内に理学療法士・作業療法士養成施設として「九州リハビリテーション大学校」が開校しました。

さらにさかのぼると、小倉南区キャンパスに隣接する「足立山」の名前の由来が、文献などによると奈良時代まで遡り「和気清麻呂が、山の麓にある霊泉に浸かると傷が癒え、数日で歩けるようになった」からそう呼ばれるようになったと言われています。

* 平成16年4月に東筑紫学園が専門学校として継承後、平成23年4月に九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部として再スタートを切った。

研修会の最後には、橋元教授に「日本リハビリテーション発祥地記念館」を隅々まで案内していただき、リハビリテーションの歴史を学ぶとともにリハビリテーションに関する貴重な資料や様々な器具・設備を見学することができました。

「日本リハビリテーション発祥地記念館」

～ わが国のリハビリテーション発展の歴史の一端を物語る ～

わが国のリハビリテーションを牽引してきた旧九州労災病院のリハビリテーション・センター棟、義肢装具製作棟等の建物をそのまま記念館として用いており、昭和20年代からの設備、リハビリテーション機器類および写真など資料等を保管、展示しています。

これらはわが国のリハビリテーション発展の歴史の一端を物語るものであり、将来にわたって保存し語り継いでいきたいと考えています。

館内には九州リハビリテーション大学校記念館も開設されており、開校時以来の理学療法士・作業療法士養成教育にかかる資料等を展示しています。



記念館見学の様子

研修会終了後の情報交換会では、会場をリーガロイヤルホテル小倉に移動し、各会員校の取り組みやそれぞれが抱えている問題等、会員校の教職員相互の親睦を図りつつ活発な情報交換がなされ、とても有意義な時間を過ごした後に散会となりました。

今回の研修会に関しては、医療・福祉の実務及びリハビリテーションの再認識の学びということで会員校の教職員の方々のFD・SD研修のひとつと捉えて頂ければ幸いです。今後も全体研修会での学びや経験が会員校の更なる教育発展の一助になることを願っております。



2018年9月1日(土)～9月12日(水)

オーストラリア医療福祉研修報告

水野 敦子

山陽女子短期大学 教授

豪州医療福祉研修に参加して

平成30年度豪州医療福祉研修の引率の1人として初めてオーストラリアに行って来ました。これまで研修に参加した学生から、日本に帰国したくない程楽しかったという話をいつも聞いていましたが、実際に参加してみて、オーストラリアの人たちの温かさやゆったりとした生活ぶりに、私自身もオーストラリアが大好きになって帰国しました。



研修では、午前中に南クィーンズランド大学で、オーストラリアの文化や地理を学び、午後は、学外でいろいろな体験をしました。病院で職員の方からオーストラリアの医療制度について直接講義を受けたり、幼稚園で学生たちが子どもたちに

絵本を読み聞かせるなど、学生たちの専門に合わせたプログラムが組み、学生たちにはとても勉強になったようです。また、高齢者施設訪問や給食

配達のボランティアなどで、直接オーストラリアの人々と交流したことも有意義な経験だったと思います。

学生たちは滞在中、ラインやフェイスブックにホームステイ先での様子をアップしていましたが、ホームステイ先でも、家族の一員として楽しく過ごしていたようでした。私のホームステイ先のブラウンご夫婦は善意の塊のような方で、往復4時間かけて美しい景観の公園にピクニックに連れて行って下さったり、ミュージカルの切符を手配して下さい、感謝の言葉もない程お世話になりました。また、ご夫婦は料理が得意で、学生たちのために全員分の昼食を教室に届けて下さり、みんなでランチパーティをしたことも楽しい思い出です。



研修中、北海道の大地震や関西の豪雨災害など日本から大きなニュースが飛び込みましたが、共に心配して下さい、オーストラリアの人々に慰められました。また、本学からの学生の参加者は1名でしたが、愛知文教女子短期大学の先生や学生さんたちが大変親切にいただき、帰国後も再会を約束するなど、今回の研修を通して友情の輪が広がったこともよかったです。

9/1 SAT

- 8:00 空港集合 搭乗、出国手続き
- 10:30 中部国際空港
福岡国際空港
シンガポール航空にてシンガポールへ
- 16:20 チャンギ国際空港到着
合流
フリータイム(両替、ショッピング)
- 21:30 シンガポール航空にて
オーストラリアへ出発



9/3 MON

- 9:00 各ファミリーに送っていただき、USQへ
オリエンテーション、ホームステイ先での注意事項、
ホームワーク、モーニングティー
- 11:00 ELS、学内ツアー、USQゲート前にて集合写真撮影、
ランチ
- 13:30 City Hall 訪問、Street Art 散策
- 15:10 帰宅



9/2 SUN

- 07:05 ブリスベン国際空港到着 Elisabetha の出迎え
- 10:30 専用バスで Lone Pine Koala Sanctuary
園内散策、コアラと写真撮影
トゥーンバへ University of Southern
Queensland(USQ)到着
Kate と綾野さんが出迎え
- 12:00 ホストファミリーと対面後、
ファミリーといっしょに各家庭へ



9/4 TUE

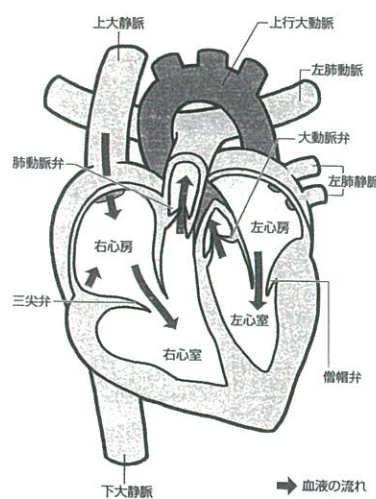
- 9:00 オリエンテーション Drayton Villas について
ホームワーク
- 10:30 浴衣に着替え、Drayton Villas 訪問
折り紙、ダンス、ランチ、お宅訪問
- 13:00 公園で写真撮影
- 13:30 Cobb & Co 見学
オーストラリアの歴史やアボリジニについて学ぶ
- 15:10 帰宅



～ 基礎医学知識分野 ～

◆ 今回は、心臓について学習しましょう。

- 心臓は規則的に収縮することにより、全身に血液を送り出すという働きがある。血液は酸素と栄養を含み全身に送り出し、全身の臓器から排出された二酸化炭素と老廃物は血液によって再び心臓に戻される。二酸化炭素は肺へ、老廃物は腎臓や肝臓へと再び送られて処理される。血液が有効に循環できないと体は生きていくことができないため、心臓は血液を送り出すポンプとして極めて大事な働きを担っている。
- 心臓は胸腔内の中央やや左側にあり、左右の肺にはさまれ、その約2/3は正中線の左側によっている。大きさは、成人で手拳大（握りこぶしの大きさ）で、重さは200～300g、円錐形に近い形である。下端は左前下方に尖っており、ここを心尖という。心尖は心拍動とともに動き、前胸壁にあたるので、左胸部に手をふれるとその拍動を感じる。これを心尖拍動という。
- 心臓は4つの部屋に分けられる。上部にあるものを心房、下部にあるものを心室と呼び、それぞれ左右に分かれているため、右心房・右心室・左心房・左心室と呼ぶ。右心室は肺動脈で肺につながり、左心室は大動脈から全身につながっている。血液は肺で二酸化炭素を出し、新たに酸素を取り込む。
- 心房と心室との間の房室口および大動脈と肺動脈の出口には弁膜があり、血液の逆流を防いでいる。右心房と右心室との間の弁を三尖弁という。左心房と左心室との間の弁を僧帽弁という。また、左心室と大動脈との間の弁を大動脈弁、右心室と肺動脈との間の弁を肺動脈弁という。
- 心臓の壁は外層から内層に向けて心外膜、心筋層、心内膜の3層からなる。このうち、心臓の壁は大部分が心筋層でできていて、心筋は横紋筋であるが不随筋である。心臓への血液は心臓の外側にある冠状静脈から酸素や栄養素が供給される。大動脈から左右の冠状動脈が出て、次第に枝分かれして、心臓に血液を供給している。



(図) 心臓の構造
出展：「解剖生理学」じほう

医療秘書実習及び介護職員実習



沢辺 友里江

川村学園女子大学
生活創造学部
生活文化学科

私は柏市立柏病院で5日間の医療秘書実務実習をさせていただきました。主に、院内の様々な部署を見学し病院の仕組みや仕事内容について教えていただきました。練習で、オーダーのとり方や退院サマリの作成、インシデントの確認を行いました。医師や看護師の方とも関わるため、事務の仕事でも薬や医療の専門的な知識が仕事をすすめるうえで必要であることを知りました。受付ではなるべく患者様をお待たせしないために、短い時間で多くの仕事を効率よく行っていて、臨機応変で患者様の気持ちを考えた対応を学びました。複雑な業務や一見単純そうに見える業務も一つ一つに意味があり、大切な業務であることを客観的にとらえることが出来ました。今回の実習で、スタッフの方や患者様とのコミュニケーションを取ることの難しさやいつも笑顔でいることの大切さ、情報共有がいかに重要であるかを実感することができました。また、医療現場について様々なことを学ぶことができ、とても良い経験になりました。この経験を今後の就職活動に活かしていきたいと思っております。



西林 侑香

和歌山信愛女子短期大学
生活文化学科
食物栄養専攻

私は、夏休み期間中の6日間、和歌山市の「松永内科消化器科医院」で医療秘書実務実習をさせて頂きました。主な内容は、受付対応、カルテ出し、保険証の確認、パソコンでの診療報酬の計算などです。実習を通して印象に残っている点が2つあります。1つ目は受付スタッフの気遣いです。受付スタッフの方は、足が不自由な患者さんが座って保険証などを出せるように待合まで出て、隣でサポートしていました。こうした気遣いを何度も目にし、受付での仕事は、診療報酬の計算やカルテの整理を行うだけでなく、来院された方とコミュニケーションや気遣いを通して、信頼関係を築く事が大切なのだと感じました。2つ目は、分からないことへの対応です。勤務歴の長い医療事務員の方が「診療報酬について分からないことがあるから専門の方に教えて貰います」と電話で話していました。長く務められていても分からないことはあること。そして分からない時は、自分だけで解決しようとせず周りや相談し、分かるまで理解しようとする事が大切なのだと学びました。今回の実習から、教科書では学べないこと、自分の目で見ることによって分かることなど多くのことを学びました。この経験を自分の将来のために活かしたいと思っております。



橋爪 彩花

飯田女子短期大学
家政学科

短大2年の夏に、社会医療法人栗山会飯田病院で医療秘書実習をさせていただきました。私が体験した業務は、会計、外来事務（耳鼻科）、入り口に立ち、足の悪い方の補助、電話・窓口の対応です。外来事務では、患者様が忘れにくいよう会計へ行く前に、再度予約日を伝えており、患者様のことを考えている姿に感銘を受けました。実際に病院で実習をしてみると、患者様から質問を受けたり、頼み事をされたりしました。その際、患者様からは1人の職員として見られていることが分かりました。答えられることは分かりやすく、責任を持って接し、分からないことは、迅速に職員の方に聞くことができました。授業で学んだこと以外にも、現場に出ないとわからないことがあり、今回の実習を通して連携の大切さやコミュニケーション力など、人との繋がりが重要であることが分かりました。春からは医療事務として働きます。実習で学んだことを自分の中でまとめ、活かして、患者様の立場で動けるようになりたいと思っております。

練習問題にチャレンジ

設問 心臓についての説明文の()に下記の語群より適切な語句を選びなさい。

全身から帰ってきた静脈血は(①)に入り、(②)を経て(③)に送られる。血液は(④)を経て(⑤)に入り肺に至る。肺からは(⑥)を経て(⑦)に血液が戻ってくる。(⑦)から(⑧)を経て(⑨)に入り、そこから(⑩)を経て大動脈に送られる。

- 語群** A. 肺動脈弁 B. 肺動脈 C. 三尖弁 D. 大動脈弁 E. 左心室
F. 左心房 G. 僧帽弁 H. 右心室 I. 肺静脈 J. 右心室

① H. 右心室 ② C. 三尖弁 ③ D. 大動脈弁 ④ B. 肺動脈弁 ⑤ A. 肺動脈 ⑥ E. 左心室 ⑦ F. 左心室 ⑧ G. 僧帽弁 ⑨ J. 右心室 ⑩ I. 肺静脈



植田 楓菜
東筑紫短期大学

私が医療秘書実務士実習に行ったのは9月で、8月に別の実習を一度終えていたがとても緊張しました。実習先は個人開業の歯科医院で、実習期間中の主な業務内容は患者様のカルテの作成・記入、患者様への挨拶、診察のための医療器具のセッティング等でした。

実習初日は、受付の手伝いをさせていただきました。来院された患者様に「こんにちは」帰られる患者様に「お大事に」と声を掛けます。基本的なことなのですが、緊張していた私は小さな声でこちなく挨拶をすることで精一杯でした。それでも私が挨拶するとその度に患者様が優しく返答してくださり、とても温かい気持ちになりました。そして医療秘書実務士が携わる仕事について、保険請求業務はもちろんですが、患者様とコミュニケーションをとることがとても大切なのだと思えました。

また、カルテについては、患者様ごとにすべて管理されており、今まで来院された患者様のカルテは治療済みの患者様の分まですべて保管されています。治療済みの患者様が入れ歯のトラブルやインプラントのメンテナンス等で再び来院されることがあるからです。実習期間中にも入れ歯の変形や虫歯の再治療等で患者様が再来院されることがありました。その時、患者様と実習先歯科医院の関係はずっと続いていき、受付をしている医療秘書実務士と患者様は信頼関係を築いていかなければならないのだと強く思いました。

実習最終日には、しっかりと患者様の顔を見てハキハキと挨拶ができるようになり、また私の顔を覚えてくださっている患者様もいて、少しだけではありますが、患者様との信頼関係を私も結ぶことができたのではないかと考えています。

保険請求業務や会計処理については、間違いなく正確に、そして患者様を長くお待たせしないように迅速に手際よく作業を行う必要があります。私は、知識不足に加え慣れていないこともあり最初はミスも多く、中々思ったように作業を進めることができませんでしたが、繰り返し作業を進めていくうちに少しずつ慣れていきました。最終的には、一部の業務を任せていただき、ひとりでカルテの作成・記入ができるようになりました。

実習が始まる前には不安なことも多く、また医療秘書実務士として働くというイメージがうまく掴めずにいましたが、この実習を通して医療秘書実務士としての業務や患者様への接し方を学び、医療秘書実務士という仕事についてのイメージをしっかりと持つことができました。また、実習をやり切ったことで、大きな自信を持つことができました。

今回の実習でたくさんのことを教えてくださった職員の方々への感謝の気持ちを忘れずに、実習で学んだことをこれから先に活かすためにも、今できることに全力を出して取り組んでいこうと思います。



森田 桂也乃
滋賀短期大学
ビジネスコミュニケーション学科

私は、大津赤十字病院で実習をさせていただきました。初めは覚えることが多くとても戸惑いました。話を聞きメモを取ることに集中し、次の行動へ慌ててしまうこともありましたが、大津赤十字病院は職員数も多く役割が細分化されていて、院内での連携がとても重要で、誰かが止まれば1つの流れが滞ることがよくわかり、責任の重さを感じました。

各階のブロック受付では、多くの患者さんが来られていたが、素早く保険証の確認をし、不明な点があればすぐにドクターに確認されることもあり、病院としての連携が強く感じられた。そのように忙しくてきばきと行動されていながらも、職員の方は、皆さんが患者さま一人一人に対して笑顔での挨拶や柔らかい対応をされていて、プロフェッショナルな姿勢を強く感じました。算定窓口では、診療内容の入力およびチェックがとても速く、将来こんな風になりたいと思いました。DPCの算定ではダブルチェックが重要であること、患者さまが一度に多く来られた時も焦らずしっかり話すことが大切なこと、他職種の方としっかり連携を取ることで仕事がスムーズに流れることなど、多くのことを教えていただきました。

実際の現場を経験することで短大での座学とはまた違う内容を多く学ぶことができ、まだまだ学ぶことはたくさんあるのだということを再確認できた実習でした。

お世話になった職員の皆様、本当にありがとうございました。卒業して医療現場に就職してからも、この実習で得たことを忘れず、日々頑張りたいと思います。



吹上 綿菜
山陽女子短期大学
人間生活学科
人間心理コース

私は、今年の4月16日に介護老人保健施設「べんまんさくの里」に介護実習に行かせていただきました。実習時間は14時～17時の3時間で主に介護職員の方のお手伝いをさせていただいたり、利用者さんとお話をしたりしました。

私が、実習場所にお伺いした時には既に施設のレクリエーションは始まっていて、有名な歌手の方と利用者さんと職員の方がカラオケ大会をして楽しんでいました。私は途中から入っていくのを躊躇っていたのですが、皆さんに気さくにお声がけをさせていただきとても楽しい時間を過ごすことができました。私はその活動が、ただ楽しんで歌っているだけに見えて実際は、音楽療法を取り入れていたり、歌を歌いながら体操をして、それがリハビリにつながることを知って、私は一つ一つの行動にちゃんと意味があるんだなと思いました。また、その後のおやつ時間では私も運ぶのを手伝わせていただきました。その時に、おやつメニューを職員の方に見せていただいたのですが、どのメニューも利用者さん一人一人に合わせて献立が考えてあって、職員の方は本当にすごいなと思いました。

3時間というのは、短いものであつという間に実習は終わってしまったのですが、大学生活初めての实習はとても有意義な時間に終わらせることができました。また、職員の方を見て、私にはもっとまわりを見て行動する能力が足りないと思えることができたので、これからの大学生活でその能力を磨くと同時に、日々の勉強を頑張っていきたいと思ひます。



高橋 結菜
四條畷学園短期大学
ライフデザイン総合学科

私は2週間の病院実習を体験して学んだことがたくさんありました。主に受付・会計・レセプト作成の仕事をしていただきましたが、どの仕事も知らなかったことがあり、新しい発見がありました。

受付では、患者様の対応をさせていただきましたが、患者様も年齢が様々なので自分が普通だと思っけていても年配の方には聞き取りにくかったりすることがあり、声の大きさや話すスピードが大切だということが学べました。

レジでは、お会計をする場所だと思っけていましたが、それだけではなく院外処方箋を渡すという仕事もありました。渡すときには、患者様と処方箋の名前を確認しないといけないことを学びました。間違えてしまうと命にかかわる大変な事態になることもあり得るので、確認がとても重要だと感じました。

レセプト作成は、思っけていたものと全く違いました。作成するうえで薬の効能や適応病名をわかっていなければならず、すごく難しいと思ひました。

2週間はあつという間でしたが、学んだことがたくさんあり、まだまだ勉強しなければならないことを実感しました。

今回経験して学んだことや見つけた課題は、是非今後に生かしていきたいと思ひます。



伊藤 亜美
愛知文教女子短期大学
生活文化学科
生活文化専攻
情報医療コース

私は稲沢厚生病院で実習をさせていただきました。毎日違う場所で実習をさせていただきましたが、どの場所でも職員の方々の方が本当に優しく、お忙しい中丁寧にご指導してくださいました。また患者さんへの対応も笑顔が多く話し方もおだやかで、とてもあたたかい病院だなと感じました。

そして担当していただいた指導者の方々の、「この膨大な知識や技術を自分のものにするまでに、一体どれほどの苦労や努力があったのだろうか？」という驚きや尊敬の思いと、今もお、お一人お一人が専門性を高め、「患者さんのために病院のために、さらに上を目指す」と努力し続けている姿勢に感動しました。

たくさんの事を学んだこの実習は、学生生活においても、病院で働くようになってからも、私の原動力となると思ひます。

私は、稲沢厚生病院で学ばせていただけた事に感謝し、ここで得た知識をしっかりと身に付け、自分のものにして、自分の仕事に誇りを持ち、全力で努力し輝く縁の下での力持ちの医師事務・医療事務を目指していきたいです。

医師事務作業補助として、病院の一員としてがんばっていきます。



岩男 真那美

別府溝部学園短期大学
ライフデザイン総合学科

私は夏休み期間中に大分県宇佐市のいしだ内科で4週間、医療秘書の実習を体験させていただきました。今回の実習では授業だけでは分からないこと、実際に現場で医療事務を経験してみないと分からないことを学ぶことが出来ました。

実習の内容は受付業務が中心で、早く慣れることが出来ました。高齢者の患者様が多く、名前を呼ぶときなどに声が届かないことが何度かありました。でも受付は病院の顔でもあるので、患者様が来た時よりも元気になって帰って頂けるよう笑顔での対応や気配りのある言葉掛けを心がけました。電話対応は初めから苦手意識が強く、不安も大きく実習の中で一番苦戦しました。回数を重ねる度に慣れてきたものの、何度も聞き返すことも多かったです。電話対応は医療事務に限らず様々な職業で行うことなので、1トーン上げることが意識してしっかりと対応出来るようになりたいです。実際の現場を経験して、1つのミスは命に関わることを常に意識し、1つ1つの業務を正確かつ迅速に行っている医療事務員の業務の重要さを実感しました。4月からは、この実習の経験を活かして、現場に必要とされる事務員になりたいと思います。



大谷 優希

山陽女子短期大学
人間生活学科
医療事務情報コース

私は山口労災病院で、10日間の実習をさせていただきました。医事課の様々な系の業務を体験し、授業では学ぶことのできない業務が多くありました。

受付業務では、保険登録時の本人確認の重要性を学びました。また、患者個々の状況をより詳しく把握するために、患者とのコミュニケーションをしっかりとること、特に高齢の方には、「ゆっくりはっきり話す」ことを心がけられていると業務を通して感じました。

病院の顔となる受付は、聞かれたことに答えるための幅広い知識が必要であることも感じました。

医療秘書業務では受付から送られたデータを基に、医師が診察する際のカルテを簡潔的にまとめることや、問診票のデータを入力する業務等を体験しました。また問診票だけではわからない情報は直接患者に聞きに行くことで、より詳しいカルテを作成することができました。さらに、サマリーや診断書の作成も行われていました。作成の際にはカルテから情報を読み取る力が必要であり、自分自身の知識の足りなさを感じました。

診療情報管理室では、サマリー入力の業務を任せていただきました。病名にICD-10コードがつけられ、わからないコードがあった際には、直ぐに調べてコード付けが行われていました。

学校で学んだことが実際の現場で行われていて、とても良い経験となりました。また、紙カルテの貸し出しや、返却カルテの整理もさせていただきました。アリバイ管理法が使用されていてカルテ番号を見て探し方などを学ぶことが出来ました。その他に企画係、入院係、地域医療相談室、労災係、地域医療連携室など様々な業務を見学させていただきました。これら多くの業務を見学することで、スタッフ同士がコミュニケーションをとることの大切さ、病院全体の連携を感じることが出来ました。今後も勉学に励み実習を通して学んだことを活かしていきたいと思っています。

佐藤 百華

鳥取短期大学

私は、医療秘書実務実習を通して、素早く行動することや、臨機応変な対応の大切なことを学びました。また、実習でしか勉強できない貴重な体験をすることが出来ました。

私は、実習期間中に六つの課の業務を学びました。それぞれの課では、仕事の話やミーティングにも参加し、各課の仕事内容など多くのことを学びました。そのうえで、実際に資料を作成したり、カルテを作成しましたが、時間が掛かってしまいました。実習とはいえ仕事効率の悪さを痛感しました。

医療秘書については、一通り授業で教わっていたので、実習に当たって全く知らないということはありませんでしたが、実際に実習を行ってみると、その内容は多岐にわたり、授業だけでは理解できなかったことも沢山ありましたが、事務職の方々や看護師さんに指導していただき、一週間の実習を終えることが出来ました。

院長先生はじめスタッフの皆さんには、大変感謝いたしております。有難うございました。

～ 医師事務作業補助者の実務 ～

学校法人山陽女学園
山陽女子短期大学人間生活学科 准教授 有吉 澄江

はじめに

医療事務教育は、1965年から通信教育として開始され、1969年には日本初の診療報酬請求業務の受託が開始されています。当時の医療事務とは、受付や会計、診療報酬請求業務を主としていました。

今日では、医療に関わる事務職を総称して医療事務と称されますが、学校教育では、医療秘書と称して教育を行っている場合が多くあります。狭義には、受付や会計、診療報酬請求事務に携わる者を『医療事務』といいます。

医師のスケジュール管理や医師の指示の下、医療文書作成の代行、カンファレンスの準備など医師の事務作業補助を行う者は、『医療秘書』や『メディカルアシスタント：MA』等と呼ばれています。その他、病棟における看護の事務補助を行なう事務職は『病棟クラーク』、診療録や患者の健康情報管理、ICDコーディングやデータ分析などを行う事務職は『診療情報管理士』と称されています。

広義の医療事務職の内、最初に教育が始まったのは『診療情報管理士』で、1964年に厚生省病院管理研究所に病歴管理専攻科が開設されました。1972年に日本病院協会（現：一般社団法人日本病院会）が通信教育を開始しました。

病院勤務医の負担軽減対策の一つとして、2008年の診療報酬改定で、医師事務作業補助体制加算が新設され、医療事務の分野に新たな業務として評価されるようになりました。

本稿では、『医師事務作業補助者』の業務とその役割について考察したいと思います。

医師事務作業補助者の導入と歴史的背景

アメリカの医療秘書の歴史は100年以上もあるといわれており、患者の予約や患者対応、口述筆記・タイピングなど、医師のパートナーとして活躍していますが、わが国では、1960年（昭和35年）に鹿児島医師会が准看護師の受験資格のMS（Medical Secretary）教育（通信制）を開始しました。しかし、これは看護師（当時は看護婦と称していた）不足解消策の一環として、事務処理や書類作成などを行う看護師の補助人材を養成する意味合いがありました。やがて各県医師会に拡充していき、全国連絡協議会の設立につながりましたが、看護資格ではないため、昭和49年からはメディカルセクレタリー教育を開始し、昭和56年、全国連絡協議会はMS学園と名称変更しました。その後、日本医師会の認定を受け、昭和58年から、日本医師会が医療秘書の認定を開始しました。



日本医師会認定の医療秘書は、医師の補佐業務をすることを目的としており、「秘書業務」、「一般事務」、「保険請求業務」、「情報管理業務」を行い、広く保健・福祉の分野において活躍できる職種として位置づけています。

前述の通り、2008年4月の診療報酬改定により医師事務作業補助体制加算が新設されたことにより、医療機関では医師事務作業補助者の採用が増加しています。

本協会では、2015年4月より以下の実務課程による教育を開始し、同年度に実務課程修了者への『医師事務作業補助実務士』の認定が始まりました。

医師事務作業補助実務課程	ガイドラインの抜粋	http://www.iryo-fukushi.com/
① 臨床医学	各診療科別疾患の概要	2単位
② 解剖生理学	人体の構造・生理	2単位
③ 医薬と検査	医薬・検査に関する知識	
④ 公衆衛生学（医療法規）	公衆衛生活動・保健医療等	2単位
⑤ 診療情報管理論	診療情報の歴史、法的问题、診療録の保管・管理等	2単位
⑥ 医療秘書実務	医療秘書概論、業務、マナー・接遇等	2単位
⑦ 医療事務総論	病院医療の概要、医療事務の仕事、社会保障・保険等	2単位
⑧ 情報処理演習	Word・Excel・インターネット等	1単位
⑨ 医師事務作業補助業務	医師事務作業補助者の背景、個人情報保護、医療情報システム（電子カルテシステム・オーダーリングシステム・その他の医療情報システム）、文書作成補助業務、医療の質・関連法規、医療安全等	2単位

次稿から、具体的な教育や求められる人材像、実務等、詳細にご紹介しましょう。

ワンポイントレッスン
One point lesson 10

日常業務に「ほう・れん・そう」が必要な訳

1960年代アメリカのアニメーションに「ポパイ」という作品があります。「ポパイ」はアメリカ海軍の水兵さんです。ストーリーの大筋は毎回同じで、「ポパイ」の恋人の「オリーブ」が、同じ水兵のちょい悪の「ブルート」に横恋慕され、何かといい寄られ、しまいには意地悪までされてしまいます。「オリーブ」は困ってしまい、我慢が出来なくなると大きな声で「ポパイ」と叫びます。すると、どこからともなく「ポパイ」が現れて「ブルート」と戦い「ポパイ」は必ず優勢になります。そこで「ポパイ」は「ほうれん草」の缶詰を取り出し一気に開け、モグモグと食べます。

すると見る見るうちに両腕の力こぶがふくれ上がり、「ポパイザーマン」の音楽・ファンファーレと共に体も大きくなり「ブルート」をやっつけて「オリーブ」を助け、ハッピーエンドになります。「ほうれん草」の効果ははすごいものでした……。

私達は組織の中で様々な業務を行っています。特に医療秘書業務は患者様利用者様とご家族と医療・介護の提供者との橋渡しの役割も担っています。患者様・利用者様に安心して医療・介護を受けていただくためには「ほう（報告）・れん（連絡）・そう（相談）」は欠かせないものです。

患者様や利用者様の受診相談の日時や内容等については医師や看護師の予定を確認し日程調整や相談内容の調整など大変重要な事柄です。また、他部署との情報共有を図るためにも「ほう（報告）・れん（連絡）・そう（相談）」は欠かせないものです。日常の小さな報告・連絡・相談の積み重ねがインシデントを最小限にし、業務を活性化させることに繋がって行きます。

私達は多忙の中、日常業務を行っております。業務を正確・安全に行うためにも「ほう・れん・そう」を使いこなすことが必要であると考えます。「ほう・れん・そう」を駆使することによって各方面でのコミュニケーションが深まり、信頼関係も向上し、患者様・利用者様との関係も良好となり、業務もスムーズに進めることが可能となります。

「ほう（報告）・れん（連絡）・そう（相談）」は5W3Hを使うとより効果的になり相手にわかりやすく伝えることができます。

ハウ・レン・ソウ

- 簡単明瞭に（5W3H）
- 悪い報告はいち早く
- 相談は自分の結論を持参する

ハウ・レン・ソウの目的

- *「目標を達成」するための一つの手段
 - 業務の円滑化
 - 上司や他部署との情報の共有化を図る
 - 効率的に目標達成を図る

ハウ・レン・ソウが徹底されている職場

- この手法が徹底されている組織は、上司と部下、先輩や同僚そして後輩スタッフ間の意思疎通が良好です。このような職場では「洗練されたアイデア」が生まれたり「問題解決」がスムーズに運んでいきます。

報告 正確に・悪いことは早めに具体的にわかりやすく・経過も報告

連絡 すばやく・内容は簡潔に・こまめに

相談 早めに・余裕をもってポイントを整理して・事後報告も有り

参考文献：洗心グループ フィロソフィ
文責：川村学園女子大学 生活文化学科 非常勤講師 老健施設 島村洗心苑 相談役

鈴木 誠

医療・福祉現場で働く 卒業生の声 33



四條畷学園短期大学
ライフデザイン総合学科
卒業
大森 唯香
●勤務先●
医療法人仁泉会
阪奈病院

私は在学中に医療事務を学び、医療秘書実務士と診療情報管理士の資格を得ました。そのとき培った請求業務や保険制度の知識などを活かし、現在病院の地域医療推進課で相談員として働いています。当院は急性期病院ではなく療養型病院で、ほかに結核病棟が

あり、大阪府下さまざまな病院から入院依頼が来ます。感染性があるため、迅速に対応することを心がけています。

日々の業務内容は、入退院支援、カルテの元となる伝票の作成、死亡時の診断書の処理や全患者様のデータ管理などです。入院支援では、ご家族様の病院見学対応、入院時の事務手続きなどがあります。その際、入院費や公費負担のこと、保険証のことを尋ねられることが多く、学生時代に学んだ医療事務の知識が役立つことがあります。退院支援では、患者様とご家族様にどんな病院・施設がいいか希望を伺います。場所や入院期間、

リースの費用面が病院や施設によってはかなり変わってくるので初めによくお話をし、自分の病院だけではなく他院の特徴も理解する必要があります。

私が一番成長したと感じる点は、電話対応です。4月に入職した当初は、電話対応に苦手意識を感じ、病院名を聞いたなら名前を聞き逃したり、上司に電話を繋ぐとき保留ボタンを押したつもりが間違えて電話を切ってしまったり何度も失敗しました。しかし、その度上司に助けていただき改善するうちに自信が付き、今では誰よりも早く電話に出られるようになり電話が大好きになりました。

今後は、まだまだ勉強不足だと感じたことがたくさんあるので、実務経験を増やし、相談員として必要な社会福祉士の資格取得を目指し、さらにスキルアップしていきたいと思っています。



別府清部学園短期大学
ライフデザイン総合学科
卒業
黒田 菜々美
●勤務先●
松本整形外科クリニック

私は別府清部学園短期大学を卒業し、大分県日出町にある松本整形外科クリニックで、医療事務員として働いています。

主に来院された患者様の受付や電話対応を担当していますが、その他にも様々な業務を行うことも多いです。少しずつ慣れてきてはいますが、まだまだ

戸惑うこともあります。

また、整形外科ということもあり、来院される患者様は、大半がリハビリを利用される高齢の患者様で、対応する時には在学中に学んだ介護の授業が役立っています。

私は在学中に介護施設に実習に行き、1年次終了時には介護職員初任者研修を修了しました。その際、施設の方の高齢者の患者様に対する接し方を間近に感じられたことはとても貴重な経験でした。患者様と同じ目線で、ゆっくり聞き

取れるようなスピードで話をするなど、今も心がけて行っていることは多いです。実際の受付業務では高齢者の患者様に接するときは、お呼びする際に声の音量をあげたり、話すスピードを調節したり、筆談を用いたり、経験から学んだことを活かしながら行っています。

まだまだ覚えていくことも多くありますが、毎日多くの患者様と接し、患者様から「ありがとう」という言葉や笑顔を見せて下さった時には、この仕事のやりがいを感じています。

医療事務員は、クリニックの顔となる存在です。受付に立つ私達の対応一つで患者様の印象も変わってしまいます。受付から診察、会計までをスムーズに行い、一つ一つの物事に対して笑顔で丁寧な対応を心がけて行きたいと思っています。

飯田女子短期大学
家政学科家政専攻
卒業

近藤 結花
●勤務先●
医療法人輝山会
記念病院

私は飯田女子短期大学を卒業し、医療法人輝山会記念病院で、医療事務員として働いています。入職してすぐに入院事務に配属され2年目は介護事務に配属になりました。

主な業務内容は、窓口対応、電話対応、カルテ整理、レセプト業務などです。窓口では保険証の確認や面会の方の案内、様々な書類の受け取り等、どの対応も丁寧に分かりやすく気持ちよく心掛けて行っています。

電話対応では、相手に伝わりやすいようにゆっくり落ち着いた話し、繋ぎの電話だった場合は要点を聞いて迅速に繋ぐよう業務にあたっています。この二つの業務はPC事務と違い人と人の関わりなので、どんな方が来ても、この病院に任せられるという信頼感・安心感を強めていけるような対応をできるよう業務にあたっています。

カルテ整理、レセプト業務では、利用者様、患者様の利用料を計算し請求書発行を行います。毎日同じ業務ですが自分のまだ知らない加算だったり一日一日学べるのがたくさんありとても勉強になります。特に、月初め、月末は請求の締め追われて、初めは上手くいかない事ばかりでしたが、日を重ねるにつれ、一日の業務ペース配分や効率よく進められるような力を身に付ける

ことができてきました。ですが、まだまだ先輩や上司には到底追いつけないので、先輩・上司の背中を追って、吸収できるものは全て吸収し、自分の力に変えていきたいと思っています。

まだまだ覚えていくことも多く、大変な業務もありますが、利用者様、患者様から「いつもありがとう」という感謝の言葉をかけて頂いたり、笑顔を見せて下さった時は、この仕事にとってもやりがいを感じます。

医療事務員は病院の顔となる存在です。窓口対応・電話対応を通して直接かかわることによって、利用者様、患者様の病院への印象も変わってしまうので、そのことを自覚しつつ、病院の一員として笑顔で活気ある丁寧な対応を意識して励みたいと思っています。

短大で身に付けた知識も生かしつつ、これからも頑張っていきたいです。



愛知文教女子短期大学
生活文化学科
卒業

榊原 紗英

●勤務先●
花井クリニック

のお話を聞く中で、人との関わりや誰かの役に立つ仕事がしたいという思いと、病院の顔となる医療事務スタッフになりたいと強く思うようになりました。2年次の医療秘書実務実習で、医療事務員の方々の患者様への対応や接し方を見る中で、一人ひとりの患者様への対応を疎かにせず、丁寧に、

私は愛知文教女子短期大学の情報医療コースを卒業し、地元のクリニックに勤務しております。短大入学当初は企業の秘書の仕事に憧れを抱いていましたが、短大で医学医療に関わる授業、実際に病院で働いている先生方の授業を受け、現場

により職員の方全員があたたかい心、ホスピタリティの心を持って働いていることで、たくさんの患者様が病氣と向き合い、通院することができるのだと感じ、医療事務として働くことを決めました。

現在は、受付や会計、医療費の計算などを行いながら、患者様との関わりはもちろん、医師や看護師とのコミュニケーションを大切に業務を進めています。医療現場で働くための学びも、仕事をスムーズに運ぶための秘書の学びも活かして、私らしく仕事に向き合うことができています。初めて知った知識や技術を柔軟に取り入れ、仕事に活かすよう日々努力しています。



久留米信愛短期大学
フードデザイン学科
卒業

山田 美貴

●勤務先●
サーノメディカル株式会社
クリア薬局

実習に行かせて頂いたとき、患者様に親身になって接するスタッフの方の姿を見てとても憧れたのを覚えていたからです。私も同じように不安な気持ちの患者様に少しでも安心して頂けるような対応・笑顔・声かけができる仕事をしたいと思っています。栄養士からの転職で不安もありましたが、私の勤務している薬局が「心を込めた

私は、久留米信愛女学院短期大学 健康栄養学科（現 久留米信愛短期大学 フードデザイン学科）を卒業し産婦人科で栄養士として働いたのち、医療事務へと転職いたしました。なぜ、医療事務を目指したかという、きっかけは学生時代の医療秘書実務実習での経験です。

おもてなしで患者様をお迎えする調剤薬局です」というのをモットーにしており、そこに惹かれ、私もその一員になりたいと思い、こちらで働かせて頂くことになりました。

仕事内容は処方箋の受付、保険の確認、パソコン入力、来局された患者様への接待など様々あります。就職して間もないので覚えることも多く大変ですが、職場の方々にフォローして頂きながら毎日色々なことを教えて頂いています。

学生時代に憧れた医療事務の方のように、一人ひとりに丁寧で、患者様の望まれる一歩先の対応ができるよう、色々経験と積み重ねて成長しながら頑張っていきたいと思っています。



東筑紫短期大学
卒業

梶西 美咲

●勤務先●
水町内科消化器科医院

事務としての不十分な知識に加え、緊張からのコミュニケーション不足が原因で、患者様を不快な気持ちにさせてしまうこともありました。悩んでいる私に、「まずは積極的に挨拶をしたり、会話の中に入って相槌を打ったりして聞き上手になることから始めたらどう？」と、先輩からアドバイスを頂き、改めて

私は東筑紫短期大学を卒業後、水町内科消化器科医院の医療事務員として働き始めて1年が経ちました。主な仕事内容は、受付・会計・電話対応・レセプト請求を行っています。働き始めた頃は、全てにおいて覚えることに精一杯で、医療

コミュニケーション力の大切さに気付くことができました。

以降、来院された患者様に笑顔で挨拶や声掛けをしながらコミュニケーション力を培う努力をしています。また、スタッフ間で「報告・連絡・相談」を心がけ、患者様に安心して当院で治療を受け、健康を取り戻して頂けるよう取り組んでいます。

まだまだ、不安になることもありますが、丁寧な仕事を心がけ、余裕をもって患者様に接することができるようにしたいです。そして患者様やスタッフに信頼される医療事務員になれるように今後も頑張ります。



山陽女子短期大学
人間生活学科
卒業

清水 美紗

●勤務先●
株式会社ヒューマックス
JA広島総合病院

あり、医学的知識も必要になってきます。また、病名漏れを防ぐために薬剤の適応症を覚えることも大事です。

配属当初は、患者さんの対応や制度の説明など慣れないことばかりで失敗することもたくさんありました。辛いこともありますが、患者さんからの「ありがとう」

私は山陽女子短期大学を卒業後、株式会社ヒューマックスに就職し、受託先であるJA広島総合病院で産婦人科外来の受付を担当しています。主な業務内容は、患者さんの受付や会計入力、電話対応、レセプト業務などです。医師からコスト

という言葉が聞けると凄く嬉しいです、医療事務員としてもっと頑張ろうと思えます。

大学では電子カルテや、病院の一連の流れを想定した授業など、実践で活かすことのできる技術を多く学ぶことができました。また在学中、「診療報酬請求事務能力認定試験」に合格し、レセプト点検をスムーズに行うことができています。

産婦人科でたくさん勉強しながら、次は「診療情報管理士」の資格取得を目指したいと思っています。一緒に働く医師からレセプト関連の質問を聞かれることが多いからです。日頃の業務を円滑に進めるためにも、患者さんや周りのスタッフから頼られるようにこれからも勉強していきたいと思っています。

就職現場に聞く

社会医療法人 清風会 五日市記念病院 廿日市記念病院

広島市佐伯区倉重1-95 (法人本部所在地)

法人本部総務課 課長 宇都宮 幹二

社会医療法人 清風会 は、広島市佐伯区にある『五日市記念病院』と廿日市市にある『廿日市記念病院』の2病院を有する医療法人です。『五日市記念病院』においては、180床（一般病棟60床、回復期リハビリ病棟80床、療養病棟40床）のケア・ミックスの医療を行い、『廿日市記念病院』においては126床（回復期リハビリ病棟60床、療養病棟42床、緩和ケア病棟24床）の病院で、総合リハビリテーション施設でありながら、緩和ケア病棟（広島西医療圏における唯一の緩和ケア病棟）を有し、地域に根ざした医療を行っているところです。この病院間の距離は6.5kmしか離れていない為、当法人のネットワークを有効に活用することにより、法人内で“急性期～回復期～維持期（生活期）～終末期”という様々なステージでの医療を提供することが可能となっています。逆に言えば、職員にとっては、法人内で異動することにより、様々な経験を積むことができるということになります。



五日市記念病院



廿日市記念病院

当法人での医療事務の業務については、『診療情報管理課』という組織の中に3つの係があり、

- ①診療情報管理係 診療情報管理士により、コーディングや様々な資料（情報）管理業務を行います。
- ②医事係 一般的な医事業務を行います。（受付、外来、病棟業務）
- ③医療秘書係 外来診察室における医師事務作業補助を行います。

上記のように分けられています。

病院間の異動だけではなく、院内においても課内で係の異動が発生することがあります。

このように、課内・病院間でローテートすることにより、知識・経験を積んでいくことが可能となってきます。

昨今の医療現場においては、“チーム医療”が行われているのは皆さんご存知のことと思いますが、いろんな職種のスタッフとコミュニケーションをとる能力が、求められています。『専門の知識がある』ということは言うまでもありませんが、その知識を活かすためにも自分の意見が言える、他人の意見が聞ける、またチーム内の人間関係を円滑に進めていくための言動ができる等、『人間力』が求められています。また、それと同時に『打たれ強さ』も、当法人として求めている部分になります。社会に出ると、様々な困難に遭遇します。その様な時にもへこたれず、前向きに取り組んでいける、そんな気概を持った方を当法人では求めていきたいと考えています。

勉強はもちろんですが、学生時代にはいろんなことにチャレンジしていただき、『人間力』を磨くことにも目を向けていただければと思っています。当法人では、そのような方を求めています。学生生活が始まったばかりの方、若しくは、そろそろ学生生活が終わろうとしている方、どのタイミングでこの内容を目にさせていただけるかわかりませんが、充実した学生生活を過ごしていただくことを願いつつ、一採用担当者としての思いを、少しだけ綴らせていただきました。

就職現場に 聞く

医療法人仁泉会 阪奈病院

事務長 小西 浩実

医療法人仁泉会阪奈病院は、戦後も猛威を振っていた結核の診療施設として発足いたしました。現在は肺結核の豊富な診療経験を生かし、肺炎や喘息など結核以外の呼吸器疾患も診療しておりますが、とりわけ近年では喫煙や大気汚染による気管支炎や肺気腫などの慢性閉塞性肺疾患(COPD)が増加しており、この方面の診療も多数行っております。

また、未曾有の超高齢社会を迎えつつある現状を踏まえ、病気の治療後も在宅復帰に向けて、あらゆる角度から高齢者の方の生活を支援できるよう、一般内科を始め物忘れ外来などの診療も行い、高齢者向け施設の充実にも力をいれております。

今後もなお一層の地域医療の充実と、医療と介護の融合を目指していきます。



厚生労働省が刊行している厚生白書に、「医療はサービス業である」と定義されてから20年以上の年月が経過しました。当院でもより良い接遇を目指し、職員に向けて「患者さんの為に最高のパフォーマンスが発揮できるよう自分自身のモチベーションを高めよう!!」と日々呼びかけております。

最高のパフォーマンスとは、笑顔・挨拶・目配り・気配りです。

この4つが「接遇」という形となり患者さんへ向けに行えるよう、講師を招いた接遇研修や身だしなみチェックリストの実施など、さまざまな取り組みを行っています。そういった取り組みの一つとして、月1回の「全員朝礼」があります。この全員朝礼では、事務長である私が毎月変わる「今月の言葉」を紹介しています。毎月、患者接遇向上、業務を円滑に行うための職員間のコミュニケーション向上に役立つ内容をお話ししています。今月は山崎房一さんの言葉です。

「心は言葉や態度によって表さないかぎり相手に伝わらない。」

朝礼ではこのようにお話ししました。

「それくらい言わなくてもわかってくれる。」普段こんなふうに考えていませんか。

でもそれでは伝わりません。相手にそれが正確に伝わり、理解してもらうためには言葉や態度で表す必要があります。どうすれば自分の思いが相手に正確に伝わるのか。自分自身の話し方や態度をもう一度振り返ってみよう。

職員間のコミュニケーションがしっかりと行われて、業務を円滑に進めることで安心感を患者さんにもって頂き、お待たせしないようすることも患者接遇の一環です。

そういった意味でこの言葉にある「意思の疎通の大切さ」は、患者さんへの接遇にも繋がる、働くうえでの重要なキーワードになります。

特に医療事務の仕事は患者さんと最初に接する受付業務、診察が終わられて診療費をお支払いされるとき会計業務など、患者さんと接する機会が多くあります。当院では四條畷学園短期大学にて「医療秘書実務士」の称号を取得した多数の卒業生が、接遇やコミュニケーション能力に日々磨きをかけ、「病院の顔」としての役割を担っています。

また、2025年を目途に地域包括ケアシステムの構築が推進されているなか、医療や介護サービスの在り方が大きく変わろうとしています。患者さんにより良い医療サービスを提供するためには、病院の職員一人一人が経営の視点から業務を考えることも大切です。

阪奈病院では、今年2月に50周年式典が行われました。

今後もより良い医療、介護サービスの提供を行い、患者さんから選ばれる病院であり続けたいとの思いを新たにしました。皆さんには、公私ともに充実した学校生活を送っていただき、それを糧としてより良い職業人の一員として活躍していただきたいと思っております。

学生VOICE 突撃レポート

愛知文教女子短期大学 生活文化学科 生活文化専攻 情報医療コース 平野 聖子

私たちは、昨年の10月15日に消防本部集団救急の事故対応訓練に参加させていただきました。今回の訓練で、私たちは、けが人や病人の役をさせていただき、ケガで動けない人やケガ人に声がけをし、助けを呼びに行くなどの体験をしました。

その中で私は、階段で将棋倒しにあい、開放骨折してしまうという大怪我の役でした。ただ怪我をしているというだけでなく傷メイクもさせていただき、より一層リアリティと緊張感がありました。

みんなが誘導されたり、運ばれたり、避難していなくなっていく中、ケガをしているという恐怖と初めての訓練体験で緊張していました。初めて担架で運ばれる経験をし、とても貴重な体験ができました。

今回の集団訓練を通して、いつ・どこで・どのような事件、事故にあうかわからないので、そのときのために知識を付けておくことが特に医療機関に就職を目指す私たちにとっては、大切だと実感しました。これからも、このような機会があれば積極的に参加し、知識面も技術面でも学んでいきたいと思っております。

そして今回の経験を、今後の生活や就職してから生かしていきたいです。



飯田女子短期大学 家政学科 家政専攻 石原 二千佳

私が所属する学科・専攻では3分野について専門的に学ぶことができます。養護教諭、医療事務、デザインの3分野で、私自身は医療事務の勉強・資格取得に励んでいます。この専攻の特徴として、1分野に絞った学習ではなく、自分自身が学びたい講義を受講できる点があります。そのため医療事務の勉強と共に、養護教諭養成の科目もいくつか学んでいます。

将来、医療事務に就きたいと考えているので、病院や診療所に就職した際、役立つ知識を豊富に学べていると感じています。

学業以外の活動として本学の学生会に所属し、文化部長を務めています。他学科の学生との交流も多く、積極的に責任ある行動を心掛け、今後も活動していきたいと思っています。



学生VOICE 突撃レポート

別府溝部学園短期大学 ライフデザイン総合学科 木下 美菜子

私は短大での2年間、水泳部の部活動と、勉強の両立をしました。入学のきっかけは水泳部があること、医療事務の勉強が出来るということでした。はじめて経験した寮生活では、部活が終わった夜8時頃から夕飯を作るという形で、毎日時間に追われる日々でした。

ですが、一緒に勉強する友達や、水泳部の仲間がいたおかげで、充実した日々を過ごすことができました。水泳部では、団体で日本学生選手権水泳競技大会（インカレ）に出場するという目標をたて、九州大会で2位になり、出場することが出来ました。学業では目標としていた診療報酬請求事務能力認定試験の勉強を夜遅くまで励みました。毎日がつらかったですが、無事合格することが出来たときは本当に嬉しかったです。その他にも情報処理の資格を授業以外の空き時間に勉強して5つの検定試験に合格することが出来ました。

この2年間を振り返るとすごく忙しい毎日を過ごしていたと実感しますが、それと同時にとても充実した日々だったと思います。

1,2年合同のオリエンテーリング☆
アイス美味しかった(*^_^*)



がんばった
卒業研究発表会で



卒業しました!



水泳部のみんなと♪



会員校紹介

北から南から

東筑紫短期大学



百万都市北九州市の中心部、小倉に位置する本学は、昭和11年「筑紫洋裁女学院」として出発し、今年で創立85年目を迎えました。昭和25年、短期大学制度の発足と同時に東筑紫短期大学（被服科）を設立、この間、約3万人の卒業生が九州、山口を中心に企業、幼稚園、保育園、病院等で活躍しております。

平成13年4月には、「食を通して福祉の実現をめざす」という教育思想をもった管理栄養士養成専門大学、九州栄養福祉大学を開学し、今年で19年目を迎えました。この間、16回卒業生を輩出し、過去10年以上にわたって管理栄養士国家試験合格率90%以上を堅持しており、全国でもトップクラスの実績を残しております。また、平成17年4月より大学院 健康科学研究科

（修士課程）を開設いたしました。

平成16年4月には、九州リハビリテーション大学校を開学しました。この学校は、労働福祉事業団が九州労災病院とともに設立運営してきた国立の大学校でしたが、平成16年3月で閉校となりました。日本で最も伝統ある理学療法士・作業療法士を養成する学校であったので、関係各位からぜひ存続してほしいという要請が本学にあり、この学校の名称・校舎・設備・教員スタッフ等を継承しました。前身校と同様に理学療法士・作業療法士を養成しています。平成23年4月には、九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部として再スタートを切りました。

大学・短大ともに、生活実学的な考え方を大切にしてきた創設者の思想に通じる理念を受け継いでいます。

東筑紫短期大学は、美容ファッションビジネス学科、保育学科、食物栄養学科、専攻科介護福祉専攻の3学科1専攻で編成されています。いち早く医療秘書実務士を導入したのは食物栄養学科で、この学科は昭和33年に設置し、九州では2番目の伝統を誇り、西日本でも有数の厨房施設等の環境の中で、多くの栄養士を輩出してきました。医療秘書及び医療事務教育については、平成4年に導入し、毎年卒業生の2割程度が医療事務関係で就職しています。

教育の特色としては、2年間を通して診療報酬請求の実務に力を入れておりますが、原則として資格導入当初から、栄養士を取得する学生が医療秘書実務士資格も併せて取得できるように配慮しています。学生にとっては過密なカリキュラムで大変ですが、地元では本学食物栄養学科の卒業生は「医療事務もでき、栄養指導もできる」という評価が定着しており、毎年100%近い就職率を達成しております。

川村学園女子大学



川村学園女子大学は、昭和63年に学校法人川村学園の高等教育機関として、千葉県我孫子市に開学、現在、3学部8学科及び大学院からなる文系総合大学です。なお、平成27年度より文学部国際英語学科と生活創造学部観光文化学科の2学科の学生は目白キャンパスで学ぶことになりました。

本学の建学の精神は、川村学園の創立者である川村文子の教育思想を受け継ぎ、教育理念として「感謝のこころ」・「自覚ある女性」・「社会への奉仕」というキーワードで表現する精神を核としています。その建学の精神を基盤として本学が使命・目的として掲げるものは、自然や人間の尊厳に対する真摯な認識と、深い愛に基づいて社会へ貢献し得る自覚ある女性を養成することです。

生活文化学科は、「食」を中心とした衣・食・住、家庭分野において、多様な問題の解決に対応し得る実践力、指導力、思考力を有する人材育成を目的としています。特徴として、「社会と生活」、「生活と家庭」、「栄養と健康」の3領域の科目を開講しています。さらにその応用として、フードビジネスや地域連携などの社会貢献活動に関する科目（フードマネジメント）を学ぶことができます。具体的には、地方再生を視野に入れた、地産地消型レシピ開発や産・官・学連携の商品開発及びイベントでの商品販売などを行い、地域を元気にする活動にも力を入れています。

これまでの栄養士、栄養教諭に加え、新たに中学及び高校の「家庭科」教員免許が取得できるようになりました。他に医療秘書実務士が所定単位の修得により取得できます。また、フードスペシャリストも所定単位の修得により受験資格を得ることができます。食で健康を支える時代を迎えた今、これらはこの時代にピッタリの資格です。

さらに、大学全体で学生のサポート体制にも力をいれています。学科には学生研究室があり入学から卒業までキャンパスライフをサポートし、より充実した学生生活をおくれるように一人ひとりと向き合ったアドバイスや支援をしています。

奈良佐保短期大学



奈良佐保短期大学は、1931年に奈良女子大学の同窓会である佐保会によって設立されました。「物事を正しく見分ける力を身につけた教養ある女性を育て、社会に貢献できる人材を育成したい」という高い理想を掲げて設立したのが佐保女学院です。1965年に佐保女学院短期大学として奈良市の鹿野園に開校し、2001年に男女共学になり、奈良佐保短期大学に名称変更しました。家政科からのスタートでしたが、栄養士、幼稚園教諭、小学校教諭、介護福祉士、保育士、ビジネスパーソンと、時代の要請に合わせた人材育成をして歩んでまいりました。

奈良佐保短期大学には現在、三つの教育理念があります。第一は「自律する人」です。自分がどうすべきか、どうあるべきかを考えて行動できる人

です。第二は、「自己と他者を尊重する人」です。自分だけではなく、自分以外の人も尊いものとして大切にできる人です。第三は「事象に自らかかわることのできる人」です。受身ではなく、自分から進んで物事にかかわり、成長できる人です。

この三つの教育理念の他にも本学教育の特色として「ほっとかない教育」があります。担任の先生だけではなく、授業・実習担当者、教育支援センター、学生・キャリア支援センターと様々な角度から学生をきめ細かく指導し、サポートしています。

ビジネスキャリアコースでは企業や公共団体に就職する学生に、ビジネス基礎知識・資格取得をするための教育を行っています。ビジネス実践力養成については、企業現場に精通している実務家出身教員がそろっているのも本コースの強みです。

昨年度より、ビジネスキャリアコースに医事実務士資格を取得できる科目を新しく設置し、医療事務の資格を取得できるようにしました。学生の関心は高く、多数の学生が受講しました。実際に受講すると高度な内容もあり、レシピ作成も難しかったようですが、資格取得した学生からは視野が広がり、達成感を得たとの感想を得ました。今後は医療現場のニーズも受け止めながら、内容の充実整備に努め、より一層地域社会に貢献できる人材の育成に貢献してまいりたいと考えております。

京都栄養医療専門学校



「人に奉仕し、人をもてなし、人を幸せにする」
ホスピタリティマインドを兼ね備えた実践的な専門職業人の養成をめざして。

京都栄養医療専門学校では、1974年の開校以来、大和学園の建学の精神「人の和の広がりを大きくし、もって人類の福祉増進に寄与する」に基づく職業教育を通じて、専門職に求められる高度な専門知識や技能の習得に加えて、豊かな人間性や高い職業倫理、そして「人に奉仕し、人をもてなし、人を幸せにする」ホスピタリティマインドを兼ね備えた専門職業人を養成しています。

●医療事務・医療秘書科

【医療事務コース】

診療報酬請求事務能力やDPC/PDPSの実務能力など、医療事務に欠かせない高度なスキルを身につけて、「診療報酬請求事務能力認定試験」の合格はもちろん、総合病院で活躍できる医療事務のスペシャリストをめざします。

【病院受付・クラークコース】

基本的な診療報酬請求の事務能力や介護などの実務能力とともに、受付・クラークに欠かせないメディカル・マナーを習得。地域や医療機関と連携できるメディカル・コンシェルジュ能力も育み、病院やクリニック、調剤薬局、歯科への就職を目標とします。

【医療情報コース】

電子カルテの導入など、情報システム化が急速に進む医療機関で、今、ニーズがますます高まる医療情報スタッフを育成。情報処理の専門的な知識と技能を磨きながら、上位資格である医療情報技師の取得もめざします。

●診療情報管理士科

【診療情報管理コース】

医療事務の上級資格である「診療情報管理士認定試験」の合格をめざし、診療情報管理能力や情報活用能力などの専門能力を2年間かけてじっくり着実に伸ばしていきます。

【医療情報技師コース】

IT化の進む病院のこれからを支える職種・医療情報技師を目標に、医療の知識だけではなく、情報技術分野などの専門能力も育成。将来は医療にも、ITにも強い情報分野のプロとして、医療業界の発展に貢献できる人材をめざします。

愛知文教女子短期大学



【ひとを想う挑戦】

凜として活発な、地域と社会に貢献しつづける女性を育てる、
愛知文教女子短期大学

一人ひとりに向き合う教育で、幼児教育・保育・栄養・医療事務・ビジネスのプロに!

「情報医療コース」では、実践力を身につけ、総合病院・クリニック・福祉施設などで広く活躍できる人材を育てています。クリニックの受付「医療秘書演習室」で、病院を訪れた患者さん対応等をロールプレイで学んでいます。病院での医療秘書実務実習の他、地域貢献活動を多く取り入れ、いろいろな世代の方と関わるためのコミュニケーションスキルを身につけます。お茶会やホテルでのマナー研修など、ホスピタリティについても学んでいます。

2018年4月に新しく開設され「情報ビジネスコース」は、ビジネスパーソンとして必要な会計・IT・言語などビジネスの現場に必要な知識とスキルをしっかりと身につけた、教養あふれる人材を育成し、受け身ではなく自らが主体的に学べるよう、アクティブラーニングやPBLを採り入れることで、行動力と実践力が身につきます。

また、「幼児教育学科」では、附属幼稚園での実習や「にこにこBabyクラブ」を通して乳児とのふれあいの場を設ける他、「文教おやこ園」では、保護者とのコミュニケーションを学びます。音楽療育士の育成や給食時の誤食事故を未然に防ぐため、食物アレルギーについても学べるなど、社会で真に役に立つ実践的なカリキュラムを行っています。

「食物栄養専攻」では、「運動」や「食物アレルギー」、「食育」について体験型の学びを重視しています。14年にわたって研究を続けてきた「食物アレルギー」に関する学びは社会的にも注目されており、食物アレルギー対応のクリスマスパーティー「みんないっしょのクリスマス」を毎年開催しています。

愛知文教女子短期大学の教育理念「正・明・和・信」に基づく60年以上の女性教育。その伝統と精神を今なお受け継ぎ、地域を大切にしている実践的な教育や専門職業人としてのキャリア形成を通して未来に輝ける女性を育成していきます。

事務局だより

専門委員会活動

- 平成30年9月1日[東筑紫短期大学]
＜カリキュラム、e-Learning教育・検定、広報・研究委員会＞
- 平成31年3月30日[大阪ガーデンパレス]
＜カリキュラム、e-Learning教育・検定、広報・研究委員会＞

……事務局連絡先……

〒874-8567 大分県別府市亀川中央町 29-10 別府溝部学園短期大学内
TEL.0977-66-0224 FAX.0977-67-8133
<http://www.iryō-fukushi.com/>
 事務局長…牧 昌生 事務局員…松川 邦子

事務局報告

- 全体研修会の実施
 - 平成30年8月31日
研修会：13:00～16:30 情報交換会：17:30～20:00
場 所：九州栄養福祉大学及びリーガロイヤルホテル小倉
 - 研修内容
＜研修会＞ 基調講演及び施設見学
- 平成30年度医療秘書実務能力技能検定試験の実施
 - 平成30年6月・7月実施 ●平成30年12月・平成31年1月実施
- ◎事務局より今後の予定
 - 令和元年度医療秘書実務能力技能検定試験
 - 令和元年6月・7月実施予定 ●令和元年12月・令和2年1月実施
 - 令和元年度通常総会 令和元年6月6日予定
 - 令和元年度全体研修会 令和元年8月23日予定 関東中部地区担当

特定非営利活動法人 日本医療福祉実務教育協会会員校

- | | | | |
|---------------|-----------|---------------------|----------------|
| ●飯田女子短期大学 | 〒395-8567 | 長野県飯田市松尾代田610番地 | ☎ 0265-22-4460 |
| ●川村学園女子大学 | 〒270-1138 | 千葉県我孫子市下ヶ戸1133番地 | ☎ 04-7183-0111 |
| ●田園調布学園大学 | 〒215-8542 | 神奈川県川崎市麻生区東百合丘3-4-1 | ☎ 044-966-9211 |
| ●名古屋女子大学短期大学部 | 〒467-8610 | 名古屋市瑞穂区汐路町3-40 | ☎ 052-852-1111 |
| ●愛知文教女子短期大学 | 〒492-8521 | 愛知県稲沢市稲葉2丁目9番17号 | ☎ 0587-32-5169 |
| ●中部福祉保育医療専門学校 | 〒442-0811 | 愛知県豊川市馬場町上石畑61番地 | ☎ 0533-83-4000 |
| ●四條畷学園短期大学 | 〒574-0001 | 大阪府大東市北条4-10-25 | ☎ 072-876-6171 |
| ●滋賀短期大学 | 〒520-0803 | 滋賀県大津市竜が丘24-4 | ☎ 077-524-3605 |
| ●奈良佐保短期大学 | 〒630-8566 | 奈良県奈良市鹿野園町806 | ☎ 0742-61-3858 |
| ●和歌山信愛女子短期大学 | 〒640-0341 | 和歌山市相坂702番2 | ☎ 073-479-3330 |
| ●京都栄養医療専門学校 | 〒616-8376 | 京都市右京区嵯峨天竜寺瀬戸川町18 | ☎ 075-872-8500 |
| ●山陽女子短期大学 | 〒738-8504 | 広島県廿日市市佐方本町1-1 | ☎ 0829-32-0909 |
| ●鳥取短期大学 | 〒682-8555 | 鳥取県倉吉市福庭854 | ☎ 0858-26-1811 |
| ●東筑紫短期大学 | 〒803-8511 | 北九州市小倉北区下津5-1-1 | ☎ 093-561-2060 |
| ●別府溝部学園短期大学 | 〒874-8567 | 大分県別府市亀川中央町29-10 | ☎ 0977-66-0224 |
| ●大分県歯科技術専門学校 | 〒874-8567 | 大分県別府市亀川中央町29-10 | ☎ 0977-67-3038 |
| ●鹿児島女子短期大学 | 〒890-8565 | 鹿児島市高麗町6番9号 | ☎ 099-254-9191 |
| ●久留米信愛短期大学 | 〒839-8508 | 福岡県久留米市御井町2278-1 | ☎ 0942-43-4531 |
| ●大阪国際福祉専門学校 | 〒543-0075 | 大阪市天王寺区夕陽丘町3-10 | ☎ 06-6771-4188 |

編集後記

30年余り続いた「平成」が終わり、新しい時代「令和」が幕をあげました。平成時代は、医療・福祉の現場も大きく変わった時代でありました。医学が進歩し、EBMに基づくインフォームドコンセントが普及。「医療・介護の機能分担・多様化の促進」と「地域包括ケアシステムの構築」を柱に、在宅医療の質と量の充実、DPC/PDPSや病床機能報告制度などの導入、医療・介護データの蓄積など、医療・介護提供体制の効率化と質の向上を進めてきた時代でした。そして、令和になり日本の働き方を見直す「働き方改革」が始まりました。多忙な医師の働き方改革の推進には医師事務作業補助者は欠かせない重要な存在となりました。医療の現場において、医師事務作業補助者の役割は大きく、効果的に活用できるように各医療機関において様々な取り組みが始まっています。LINKでは今号より「連載 新時代の医療事務」がスタートします。皆さんのスキルアップにお役立てください。

令和はどんな時代になっていくでしょう。全ての人が幸せに豊かに安心して過ごせる時代になることを願っています。

「Link」編集スタッフ

……編集委員長……

沖山 圭子 (滋賀短期大学)

……編集委員……

美馬 信 (日本医療福祉実務教育協会理事)

伊東 めぐみ (四條畷学園短期大学)

竹中 正巳 (鹿児島女子短期大学)

鈴木 誠 (川村学園女子大学)



令和元年6月1日発行(No.41号)

発行/特定非営利活動法人 日本医療福祉実務教育協会

〒874-8567 大分県別府市亀川中央町29-10 別府溝部学園短期大学内 TEL.0977-66-0224

編集/特定非営利活動法人 日本医療福祉実務教育協会 広報委員会 印刷/石川特殊特急製本株式会社